

2017年  
5月10日

No.222

# さざなみ

〒520-2141  
大津市大江6丁目23-24

**さざなみネット**  
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)  
TEL・FAX 077-545-5154

## 第88回滋賀県民メーデー 8時間働けば人間らしく暮らせる働くルール確立を

第88回滋賀県民メーデーが1日、県内10会場で開かれ、「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義・中立の日本をめざそう」と、全県で1050人が参加しました。

大津市膳所城址公園で開かれた中央集会には時折雨がぱらつく天候でしたが400人が参加。さざなみネットは滋賀銀行従業員組合の組合員や先輩組合員とともに5人が参加しました。

開会にあたって瀧上正昭実行委員長は「長時間過密労働の問題が大きくなりました。政府の狙いは財界の狙い言いなりを認めるもので、繁忙期の上限を100時間未満へとするなど驚きです。残業代ゼロの職種を認める動きがあります。安倍働き方改革を許さない、安倍政権はひとり一人を顧みない政権です。

追い込む取り組みが大切です。人間らしい働き方のルール確立、今すぐ時給1000円以上の賃上げを求めて闘おう」と呼びかけました。

来賓挨拶では、共産党、社民党、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民の会しが」の代表があいさつをし、暴走を加速させる安倍政権の打倒へ野党共闘を強調。民進党からはメッセージが寄せられました。

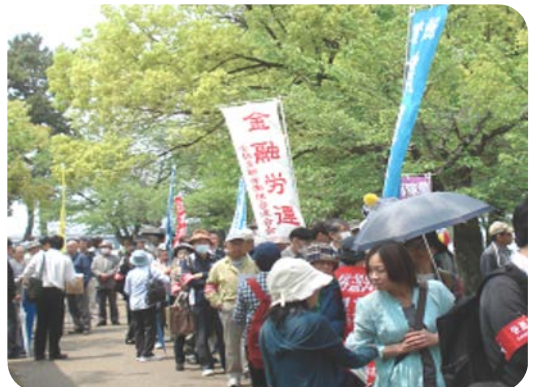
参加団体によるリレートークでは、裁判支援、沖縄基地建設反対闘争、共謀罪、長時間・不払い労働の蔓延、年金裁判、憲法など課題別の取り組みの報告と訴えがされ、共感の拍手が沸いていました。

「今こそ、最低賃金時給1000円以上の実現とあわせ、8時間働けば人間らしく暮らせる働くルールの確立、ディーセントワークの実現に向け、新たなたたかいに踏み出しましょう」などとしたメーデー宣言を採択後、「大幅賃上げで景気を回復しよう」

「共謀罪は廃案に」などとシュプレヒコールしながらパルコ前までデモ行進しました。



木瓜 岩波 美智子さん 画



## 滋賀・憲法のつどい

# 今が分かれ道、市民の力で改憲の動きをストップさせよう

安倍首相が改憲に前のめりになる中、7日、大津生涯学習センターで、「滋賀・憲法のつどい」が開かれ、青天で歩くと暑い日でしたが320人が集いました。さざなみネットから2人が参加しました。

鍵盤ハーモニカアンサンブルが滋賀のピアノ・エレクトーン講師女性4人により行なわれました。懐かしい音色による「埴生の宿」や「ケサラ」などの合唱に癒されました。

つどいでは冒頭、主催者を代表して土井裕明弁護士が、「今年は憲法施行70年で、お祝いの年のはずなのにそんな状況ではない」「憲法が何のためにあるかを自覚し声をあげることが必要」とあいさつしました。



続いて、天文学者で名古屋大学名誉教授の池内了さんが「これでいいの！軍事化が進む日本の科

学」と題して講演。軍学共同は学術の場へ重大な悪影響を及ぼす。

「大学の自治」と「学問の

自由」を阻害する可能性が高い。学問の原点は憲法のあると力説。大学は社会の次世代を担う学生たちを教育する場であり、そこが軍と結託して軍事研究を当たり前のように遂行する場となれば、日本の未来は暗澹たるものになるだろう。「今が分かれ道」と、市民の力で改憲の動きをストップさせようと呼びかけました。

最後に、「共謀罪法案阻止、戦争する国づくり許さぬ県民の共同を」のアピールを採択。県内の地域・職域・分野の「9条の会」が、今取り組んでいるメモリアル行動などの草の根の取り組みを継続させつつ、さまざまな形態でさらに行動を強めようと呼びかけました。



## 「大阪高裁 高浜原発運転禁止仮処分取り消し」 緊急報告・抗議集会

大阪高裁不当判決緊急報告・抗議集会が、4月12日に大津市明日都浜大津、18日に長浜市民交流センターで開かれ、さざなみネットから4人が参加しました。

3月28日、大阪高裁は、大津地裁が関電高浜原発3・4号機について決定した運転差し止め仮処分を取り消しました。

集会では井戸謙一弁護士から次のような報告がありました。大阪高裁は、原発は新規制基準に適合していればそれでよく、新規制基準が要求しない対策は一切講じる必要がないなどと、原発裁判の歴史の中で突出してひどいものである。福島第1原発の収束は全く見通しが立たず、廃炉・除染・損害賠償の費用は天井知らずに増加している。原発メーカーは、原発のコスト上昇により苦境に陥っている。もはや原発に未来

はないことは明らかである。市民の声を集め司法を変え、原発のない安心して暮らせる社会をめざして活動をしていこう。



## 野党共闘で安倍政治を終わらせよう滋賀2区の会 「市民と野党の共闘でつくる立憲政治」中野晃一さん講演

4月22日、米原公民館で「滋賀2区の会」結成集会と「市民の会しが」主催の講演会が開かれ、350人が詰めかけました。

集会では「滋賀2区の会」結成への経過、会則、共同代表と事務局、賛同人を広く呼び掛ける提案がされ、確認されました。

ひきつづく「市民の会しが」の集会では、中野晃一さん（「市民連合」呼びかけ人・上智大学教授）が「市民と野党の共闘でつくる立憲政治」と題して講演。「滋賀には次につながる可能性を感じる」と話し始め、市民と野党共闘の必要性をわかりやすく説明。「良い意味でのあきらめない愚鈍さ」を持ち、「互いのリスペクトで手をつなぐ」「個人の尊厳を守り、滋賀から日本が変わったというように」と期待を語りました。

最後に参加した市民と野党代表が「野党共闘でアベ政治を終わらせよう」などとコールしました。

